

体験！発見！ジオパーク(マリンスポーツ編)

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

室戸ユネスコ世界ジオパークを構成している自然や文化、産業について学ぶ体験活動を通して、青少年のチャレンジ精神、社会性、創造性を育む。

○ 実施期間

令和元年8月23日(金)～令和元年8月25日(日) 2泊3日

○ 対象者・参加者数(人数/定員)

小学4年生から6年生までの児童 23名/21名

○ 活動プログラム

8月23日〔金〕	8月24日〔土〕	8月25日〔日〕
9:30 はりまや橋観光バスターミナル迎え 11:40 室戸市内迎え 12:00 海浜活動センター着 12:10 開講式 12:20 昼食【弁当】 13:00 ヨット学習① 「ヨットを知る」 ・ヨットの名称を知る。 ・セールなしヨットに乗艇する。 ・パドルを使ってヨットを操作する。 ・沈体験をする。 16:30 海浜活動センター発 17:00 自然の家着 オリエンテーション 17:45 夕食【食堂】 19:00 ヨット学習② 「ロープワーク」 ・ヨット乗艇に必要なロープワークを体験する。 20:30 入浴 22:00 就寝	6:00 起床 7:30 朝食【食堂】 8:30 自然の家発 9:00 海浜活動センター着 9:45 ヨット学習③ 「風の力を利用する」 ・風のエネルギーを知る。 ・セールの動きを知る。 ・ヨットの組み立てを体験する。 12:00 昼食【弁当】 13:00 ヨット学習④ 「目的地へ帆走」 ・ヨットに乗艇する。 ・帆走を体験する。 ・ブイ回りを練習する。 16:30 海浜活動センター発 17:00 自然の家着 17:45 夕食 20:00 入浴 22:00 就寝	6:00 起床 7:30 朝食【食堂】 8:30 自然の家発 9:00 海浜活動センター着 9:45 ヨット実践 「ミニ航海」 ・浮き島を目指してヨットを操作する。 11:45 海浜活動センター着 ・片付け・着替えなど 12:30 昼食【弁当】 13:00 閉講式 13:30 海浜活動センター発 ・高知市内送り ・室戸市内送り



2. 活動の様子

<1日目>

開講式後、講師として招いたNPO法人YASU海の駅クラブの井土晴喜氏の講師のもと、ヨットの活動を行った。1日目のテーマは「ヨットを知る」ということで、ヨットの名称を説明していただいたり、実際にセールをつけていないヨットに乗艇したりした。また、活動のめあてとして、「みんなで準備、みんなで協力」ということを話し、助け合うことの大切さも参加者に声掛けをして取

り組んだ。とろむに到着すると倉庫からヨットを出し、ヨット1艇に3・4人乗船して活動を行った。「ヨットは楽しそうだけど操作が難しいのでは？」と思っている参加者がいたので1日目は、セールを使わずパドルとラダーを使ってヨットを操作させた。バディと声を掛けあったり、協力し合ったりしながら楽しそうにヨットに乗艇している参加者の姿が見られていた。

夜は、自然の家でヨット乗艇に必要なロープワークを学習した。実際にロープを使って、エイトノットやもやい結び、まき結びなどの結び方を学んだ。最初のうちは、ロープをうまく結ぶことができなかったが、何回も、何回も挑戦して結ぶことができるようになっていた。楽しい中にも真剣に取り組む姿が見られた。

班会では、一日の振り返りをする中で、仲間との絆を深めることもできた。翌日からのヨット乗船を楽しみにしている発言もたくさん出ていた。



<2日目>

2日目のテーマは「風の力を感じる」ということで、風のエネルギーやセールの動きを知ることが目的として取り組んだ。午前中は、陸上にあるヨットにセールをつけ、ヨットが風を受ける方向とヨットの進行方向について学んだ。ヨットにセールをつける時、どのバディも前夜に学習したエイトノットを使って準備をした。そして、ヨットを海に浮かべて、実際にセールにどのように風が当たったら前に進むのかを体験した。

午後は、ヨットに1人ずつ乗り、目的地へ帆走する体験を行った。講師の井土さんのアドバイスを聞きながら、ヨットに乗艇していた。ヨットに乗艇する体験を2回したが、乗っているうちにヨットを自分の思い通りに操作できるようになっていた。

その夜の班会では、子供たちからどうすればヨットをうまく操作できるか考えている姿がたくさん見られた。



<3日目>

最終日は、「ミニ航海」ということで、2日間の活動で学んだことを活かして、ヨットに乗艇することを目的として取り組んだ。とろむの港に浮き島を作り、ヨットで浮き島まで行き上陸する活動を行った。当日、風が弱く目的地まで帆走するには大変であったが、バディで協力して浮き島を目

指していた。全部のバディが前日の活動を活かして浮き島に上陸することができた。苦労しながらの帆走だったので浮き島にたどり着いた子供たちの顔は満足感でいっぱいであった。

閉講式では、バディごとに3日間のヨット体験について話し合ってもらったが、「自分でヨットの操作ができてうれしかった。」という感想がたくさん出た。ヨット操作は、小学生にとっては少し難しい活動であったが、どの参加者も講師の井土氏の話を一息懸命に聞き、ヨットについての理解を深めることができた。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・ヨットの操作の仕方などが分かって楽しかったです。
- ・初めてのヨットだったけど、体験をしているとだんだんと面白くなってきた。
- ・セール操作が難しかったけど、井土さんのまねをしたらうまく操作することができたのでよかった。
- ・班で協力してヨットの準備をしたり、片付けづけていたので友だちと仲良くなれた。
- ・3日間、たくさんヨットに乗ることができたのでよかった。

○ 事業の成果

- ・室戸岬の海や風などの自然について考えることができたし、ヨットの楽しさを感じることができ、ヨットの楽しさを感じることができた。
- ・どうすればヨットをうまく操作することができるか考えながら活動することができた。また、チャレンジ精神をもってヨット活動に挑戦することができた。
- ・班での活動を通して、仲間と協力し、助け合うことの大切さを学ぶことができた。
- ・ヨット操船に必要な道具の使い方を正しく学び、活用することができた。

○ 事業の課題

- ・指導員の方と事前に打ち合わせをしていたが、天候や風向きなどの影響で内容が変更する場合があった。様々な場面を想定して入念に打ち合わせをすることが必要である。
- ・今回のヨット学習では、NPO法人YASU海の駅クラブの井土専門員の方に指導していただいた。今後もいろいろな施設の方と連携して活動を行い、室戸世界ジオパークへの興味・関心を高めていく必要がある。